



< 9月号 >

# 朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校  
平成29年9月1日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1

TEL 048 (464) 7575

FAX 048 (460) 2280

< 目指す学校像 > 一人一人が輝き 笑顔あふれる学校

## 高校野球に学ぶ

校長 九鬼 武



夏休み中も、三中生は地域や部活の大会などで大いに活躍してくれました。5月から練習を重ねてきた有志84名による鳴子「みつばち」は、彩夏祭の3日間すべてに参加して躍動感ある演舞を披露し、特別賞として地域コミュニティー振興賞を頂きました。部活動でも、陸上部3年の沼井君が全国大会出場、関東大会1500mで5位入賞。バドミントン部男子団体、卓球女子個人の関東大会での頑張り。吹奏楽部も西関東大会出場決定。県大会でも、ソフトボール部の3位など多くの部が活躍してくれました（詳細は裏面）。部活動は3年生から2年生にバトンが引き継がれますが、先輩たちの残した伝統をさらに発展させて頑張りたいと思います。

ところで、今年の甲子園での高校野球は、花咲徳栄高校が全試合で9点以上をたたき出す強力な打線と、タイプの違う二人の好投手の継投で見事に優勝し、夏の大会としては初めて埼玉県に深紅の優勝旗をもたらしました。花咲徳栄高校の打線は破壊力抜群のパワーがあり、どこからでも点を取れる隙のない打線でした。しかし、よく見ると、それを支えているのは、狙い球を定めてボール球には手を出さずに、相手投手がストライクを取りに来たボールを逆らわずにコンパクトに振り抜いたり、試合の状況に応じてランナーを進めるチームバッティングをするなどの基本が、どの選手にも徹底されているからだというのが分かりました。とにかくパワーのある選手は強引なバッティングをしがちですが、狙い球をしっかりと「打つ」と、ボール球は「打たない」という相反する二つのことがしっかり徹底されていたから、強力打線の威力が発揮されていたように感じました。

このことを学習に置き換えてみると、次のように考えることができるかもしれません。

- ・狙い球を、逆らわずに力強くコンパクトに打つ  
→ 勉強する時には、集中して一心不乱に取り組む
- ・ボール球に手を出さない  
→ 例えば、家でのスマホやゲームなどを自分で決めた時間以上にやらない
- ・狙い球をしぼって、確実に打つ  
→ 今日の目標や、この時間の目標を決めて、最後までやり抜く
- ・自分勝手なバッティングをするのではなく、その状況に応じたチームバッティングをする  
→ 学級の皆が授業の規律を守り、この時間の学習の「めあて」を意識し、受け身でなく主体的に学び、そのような雰囲気の中で一人一人の力を一層向上させる

今日から2学期が始まります。2学期は、学習や行事等が充実する学期ですから、目標を立て、そのために「やるべきこと」と「やってはいけないこと」をしっかりとわきまえ、学級や学年で意思統一を図り、充実した学校生活を送って欲しいと思います。